

市民のくらし・地域の営業を応援 市民要望の実現で未来に希望を

2025年3月議会報告

3月定例市議会は、新年度予算などすべての市長提出議案を全会一致で可決しました。詳細は市議団ホームページをご覧ください。

ご意見・ご相談もこちらからどうぞ →



日本共産党蕨市議会議員団
左からやまわき紀子、鈴木さとし、武下涼の各市議会議員

日本共産党の提案が 新年度予算に実る

本会議では、物価高騰から暮らしや営業を支える取り組み、命と健康を守る拠点としての市立病院の整備、保育・介護の人材確保への支援等のテーマで代表質問を行い、あったか市政の一層の推進を要望。新年度予算では、これまで一般質問で要望してきた、ボール遊び可能な公園整備、不妊治療への支援拡充（武下）、母子手帳アプリの導入（山脇）、市奨学金制度の拡充（鈴木）などが実現しています。

蕨の成長・進化の加速化へ 頼高市長の施政方針

頼高市長は、施政方針の中で国際的な紛争や地球温暖化、日本での少子高齢化、大規模災害への懸念、物価高騰の深刻な影響等の課題を挙げ、「住民と一体となったまちづくりこそ、その打開の鍵を握っている」と表明。これまでの成果の上に、あったか市政第2ステージの取り組みのギアを一段と上げていく年にしたいと述べ、「安心・にぎわい・未来～蕨の成長・進化の加速化へ」をテーマに編成した新年度予算を紹介しました。

2025年度予算で実現した市民要望

子育て支援を拡充

保育士確保 民間認可への保育士確保支援の拡充、塚越に民間留守家庭児童指導室を開設

切れ目ない支援 不妊治療費（先進医療）助成金の創設、母子健康手帳アプリ導入、子ども家庭センター内にヤングケアラーコーディネーター配置 など

健康・安心のまちを

がん検診 前立腺がん検診スタート。乳がん検診を個別検診に、胃内視鏡検診の対象拡大

介護人材の確保 事業者の人材発掘・資格取得に支援金制度

スマートウエルネスシティ イベントやキャンペーンの他、歩道・公園遊具・ウォーキングコース表示などの環境を整備

教育環境の充実

不登校児童・生徒への支援 各中学校への学校教育センターを整備する他、市独自にスクールカウンセラーを増員

環境整備 学校トイレの洋式化、教育ICT推進 塚越地区に日本語特別支援教室整備 セカンドブック事業のスタート

安全安心・環境対策

水害・地震への備え 市内7か所に浸水センサ設置 災害対応ドローンの導入 耐震シェルター等補助をスタート

上下水道の整備・維持管理 水道管路耐震化の推進、下水道施設の耐震・維持管理の基本計画策定

環境対策 公共施設への太陽光発電設備導入に向けた調査
公用車として電気自動車を導入

いのち・健康守る市立病院

今年度は基本設計の策定へ。要望してきた救急医療や地域包括ケア等の市立病院の役割についても検討・具体化が期待

魅力・活力あるまちへ

蕨ブランド募集（4期）、市役所仮設庁舎跡地・賑わい交流拠点の整備、市民会館の改修、駅前商店街拡幅へワークショップ、ボール遊び可能な広場などの公園整備、物価高騰対策（補正予算）などを実施

終戦80年・平和都市40周年

節目の年として、各施設での平和事業に加え、記念式典、ぞうれっしゃ合唱団による合唱など

